

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP!プラン事業

「小学校理科校内研修支援事業」

実施報告

弟子屈町立弟子屈小学校

*学級数 14 *児童数 284

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道弟子屈高等学校	教諭	堀口 人 士 林 正 大	生物 地学・物理

【本事業のねらい】

太陽・月・星や雲、天気の変化等に対して、児童が興味・関心を高めながら観察・実験に取り組むことができるようにするための指導のポイントや教材・教具の工夫等について、演習を通して理解を深め、教員の指導力の向上を図ることを目的に実施した。

【実施内容】

11月27日 15:00～16:00、弟子屈小学校第6学年B組教室において、26名の児童を対象に、「星座定規の作成と観察方法」「簡易月高度計を用いた月の観察」「テレビやインターネットを活用した気象情報の獲得」「雲の観察」「月の満ち欠け」にかかわる授業を行った。



【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・実際の授業では観察・実験が難しい月や星の動きなど、実感を伴う教材・教具の作成や工夫について理解を深めることができました。
- ・教材がないから指導できないのではなく、児童の発達の段階にあった教材・教具等を作成したり、提示を工夫したりすることで興味・関心を高める指導ができるということに気付くことができました。
- ・北海道立教育研究所附属理科教育センターをはじめとする、教材・教具等の作成及び工夫に関するWebサイトについての情報を得ることができ、今後の実践への意欲を高めることができました。
- ・授業で活用したことがある観察・実験の方法もありましたが、自分とは違う視点での支援員の説明を聞いて、新たな指導のポイントに気付くことができました。これまでの実践を振り返ったり、学び直したりする、よい機会となりました。

【来年度以降の実施に向けて】

児童の学習状況を踏まえ、領域・内容を十分に検討し、指導の効果が高まる研修を実施したいと考えている。